



なお、今回の実験に参画した東北大学大学院文学研究科の坂井信之教授は、今回の実験結果から「コーヒーの香りが人の行動にもたらす効果」について、以下のように考察しています。

「今回の実験は、香りと人の親切行動の関係を心理学的に調査した事例となりますが、ここまで明確な差が出るとは思いませんでした。今回の実験結果は、統計学的にも有意な差がみられ、このような差が偶然に生じる確率は1%未満なので、とても興味深い結果だと言えます。コーヒーの香りが、嗅いでいる人をよい気分させ、その結果、他人に親切な行動を取らせるように働いたのではないかと考えられます。私たちが実施した別の実験でも、アロマセラピーに使われる香りよりも、コーヒーの香りの方がストレスをより早く減少させることがわかっています。」

以上

## 参考資料

### ■「Thanks Coffee」プロジェクト概要

「ネスカフェ ゴールドブレンド」発売 50 周年を迎えた今秋、50 年間ご愛飲いただいた「ありがとう」の気持ちをネスレから皆様に伝えると共に、「ネスカフェ ゴールドブレンド」を通じて、皆様がふだん伝えたいのに伝えられない「ありがとう」の言葉を直接大切な人に届けて欲しい、という想いを込め「Thanks Coffee」プロジェクトをスタートしました。

▼プレスリリース URL

[http://www.nestle.co.jp/media/pressreleases/allpressreleases/documents/20170928\\_nescafe.pdf](http://www.nestle.co.jp/media/pressreleases/allpressreleases/documents/20170928_nescafe.pdf)

▼「Thanks Coffee」プロジェクト オフィシャル WEB サイト

<https://nestle.jp/brand/ngb/thanks/>

### ■東北大学大学院文学研究科 坂井 信之教授



#### 【所属】

大学院文学研究科・文学部

人間科学専攻 心理学講座 心理学分野

#### 【略歴】

大阪大学人間科学部卒業、同大学院人間科学研究科博士後期課程修了  
日本学術振興会特別研究員(広島修道大学)、科学技術振興事業団科学技術特別研究員、神戸松蔭女子学院大学(人間科学部生活学科)・大学院(心理学専攻)を経て 2011 年 10 月より現職

【研究分野】 心理学、神経科学、応用心理学、健康心理学

【研究課題】 食行動の心理学(感覚・知覚心理学、生物心理学、健康心理学など)

化学感覚(味覚、嗅覚、体性感覚など)に関する認知神経科学

### ■ネスレ×東北大学「コーヒーの香りが人間の行動にもたらす効果を調査する実験」について

実験内容を知らされていない男女 100 名を実験会場へ集め、「ネスカフェ ゴールドブレンド」の香りがない状態で 50 人、有る状態で 50 人、それぞれ「木に引っかかったものが取れない」「落とした物が転がってしまう」の 2 つのシチュエーションで困っている人の横を通過させました。

▼実施期間 2017 年 10 月 10 日(火)

▼調査対象 一都三県在住の 10 代、20 代、30 代、40 代男女 100 人

▼調査結果

「ネスカフェ ゴールドブレンド」の香り無しの場合、助けてくれた回数 11 回/77 回

「ネスカフェ ゴールドブレンド」の香り有りの場合、助けてくれた回数 38 回/82 回

### ■「他者との関係に関する意識調査」について

ネスレが実施した日本人の「意識と行動のギャップ」を解明するための調査で、今回の実験にあわせて実施しました。

一都三県(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県)在住の 10 代~40 代の男女 1,000 人を対象とし、「他者との関係」に関するアンケートをおこない、実験結果との比較分析を行いました。

▼実施期間 2017 年 10 月 12 日(木)~10 月 13 日(金)

▼調査対象 一都三県在住の 10 代、20 代、30 代、40 代男女各 125 人計 1,000 人

▼調査方法 インターネットアンケート調査